

ハルビン絵葉書検索システム 環境移行及び機能拡張

日本大学文理学部情報科学科 谷聖一研究室
鈴木友美 阿部剣大 岡安悠

目次

- 1. はじめに
 - 1.1 人文科学とは
 - 1.2 デジタルアーカイブの意義
 - 1.3 これまでの谷研究室の取り組み
 - 1.4 目的・意義
- 2. ハルビン絵葉書検索システム
 - 2.1 これまでの取り組み
 - 2.2 本演習の試み
 - 2.3 システム環境
 - 2.4 環境移行の工程
 - 2.5 機能拡張
 - 2.6 ドキュメントの整備
- 3. おわりに
 - 3.1 まとめ
 - 3.2 今後の課題

目次

1. はじめに

1.1 人文科学とは

1.2 デジタルアーカイブの意義

1.3 これまでの谷研究室の 取り組み

1.4 目的・意義

2. ハルビン絵葉書検索システム

2.1 これまでの取り組み

2.2 本演習の試み

2.3 システム環境

2.4 環境移行の工程

2.5 機能拡張

2.6ドキュメントの整備

3. おわりに

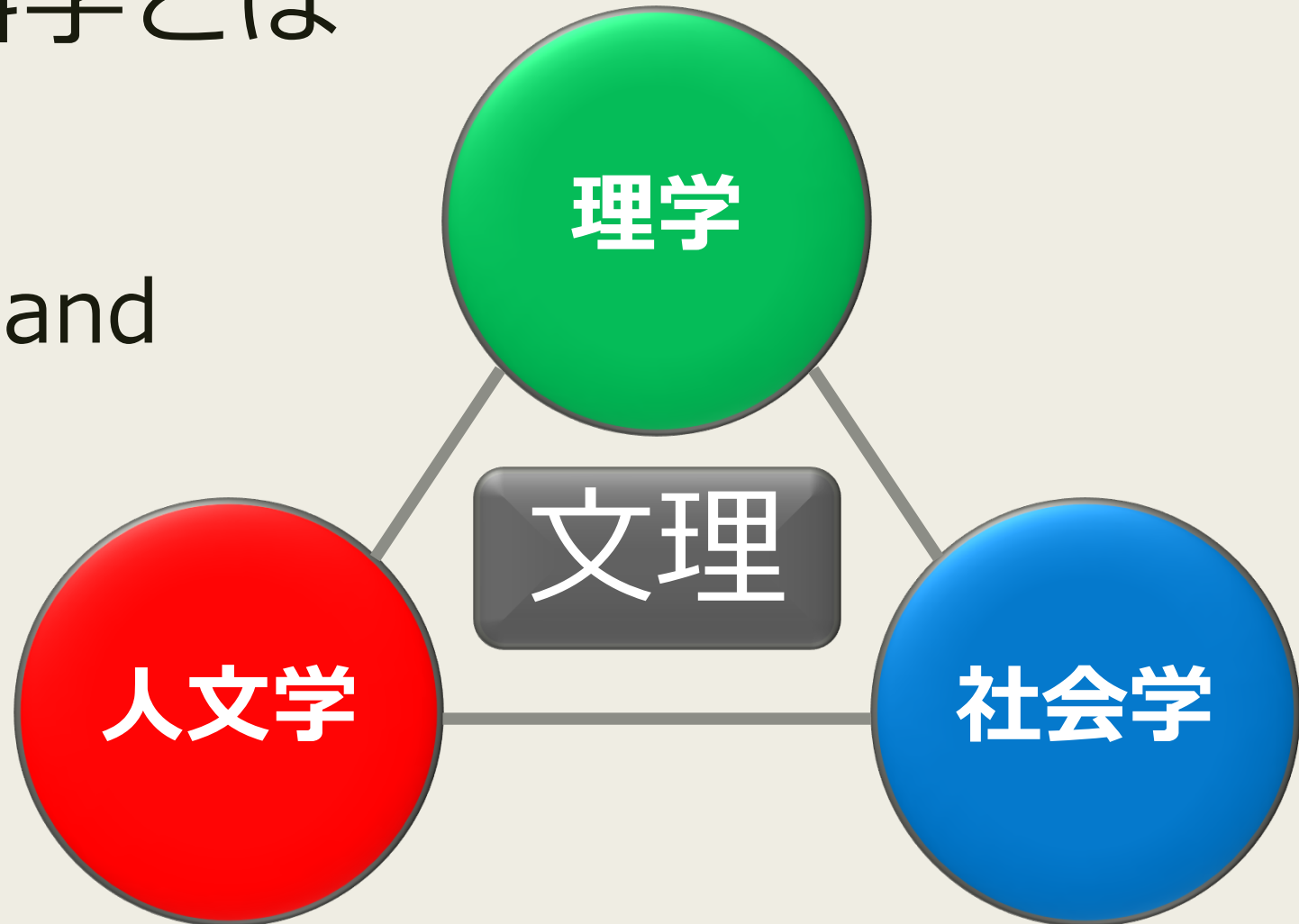
3.1 まとめ

3.2 今後の課題

1. はじめに

1.1 人文科学とは

College of
Humanities and
Sciences



1. はじめに

1.1 人文科学とは

人文科学

- 自然科学・社会科学に対して、哲学・歴史学・文学など人間文化を研究対象とする学問の総称。人文学。文化科学。
(『広辞苑』岩波書店 第六版 より)
- 広く人類の創造した文化を対象として研究する学問。
哲学・文学・史学・語学などが入る。文化科学。
(『大辞林』三省堂 第三版 より)

1. はじめに

1.1 人文科学とは

デジタル・ヒューマニティーズ

デジタル媒体による学術資料のアーカイブ構築、
文化コンテンツの分析、学術成果の公開や展示の方法などを、
文系・理系の枠組みを横断して研究する動き

デジタルアーカイブはその一例

(“DIGITAL HUMANITIES <http://dh.iii.u-tokyo.ac.jp/>

東京大学大学院横断型教育プログラム デジタル・ヒューマニティーズ”より)

1. はじめに

1.2 デジタルアーカイブの意義

アーカイブ (archive)

重要記録を保存・活用し、未来に伝達すること

ライブラリ (library)

図書や情報などの資料を収集・保管し、利用者への提供等を行う施設

(<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%A2%E3%83%BC%E3%82%AB%E3%82%A4%E3%83%96>

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%9B%B3%E6%9B%B8%E9%A4%A8> より)

1. はじめに

1.2 デジタルアーカイブの意義

デジタルアーカイブとは

遺跡、文化財、文書資料などの歴史的遺産や、
世界遺産に指定されている自然環境などを
電子媒体での、映像、文書に記録し、
データベースを作り上げること

経年劣化がなく、永久的に保存することが可能

(コトバンク

<https://kotobank.jp/word/%E3%83%87%E3%82%B8%E3%82%BF%E3%83%AB%E3%82%A2%E3%83%BC%E3%82%AB%E3%82%A4%E3%83%96-6285> より)

1. はじめに

1.2 デジタルアーカイブの意義

デジタルアーカイブ

資料をデジタルで記録、保存している

経年劣化がなく、永久的に保存することが可能

デジタルアーカイブのサービスを提供し続けるには



ハードウェア・ソフトウェアの定期的な更新・保守が必要

1. はじめに

1.3 谷研究室の取り組み

■ 日本大学文理学部資料館デジタルミュージアム



1. はじめに

1.3 谷研究室の取り組み

■ 日本語日本文学デジタルアーカイブ 「喜多村緑郎&Maps」

GHIS 日本語日本文学デジタルアーカイブ
Japanese Language and Literature Digital Archives

喜多村緑郎日記 & Maps

喜多村緑郎文庫
Rokuro Kitamura Bunko

喜多村緑郎日記 & Mapsについて

日記検索:

検索

19件中 1 - 10
次

昭和6年4月26日

昭和6年4月29日

昭和6年4月30日

昭和6年5月12日

昭和6年5月29日

昭和6年8月31日

昭和6年9月5日

昭和6年9月6日

昭和12年3月1日

昭和12年3月5日

喜多村緑郎とは

新派の名優。明治4年（1871）年7月23日生まれ。明治29（1896）年に、秋月桂太郎、高田実、小織桂一郎らと大阪道頓堀角座で成美団を結成。近代の新しい演劇を目指して以後十年間、大阪を拠点に活躍した。伊井蓉峰、河合武雄とともに新派三頭目の時代を築き、新派の女形の芸を完成した。昭和30（1955）年には人間国宝に認定されている。当たり役に『婦系図』のお蔭、『不如帰』の浪子などがある。花柳章太郎、初代水谷八重子の師匠でもあり、また泉鏡花や谷崎潤一郎など作家たちとの交流も深い。

喜多村緑郎日記とは

喜多村緑郎が残した日記。一部が翻刻され演劇出版社より昭和37年に刊行されている。役者の生活を知ることができる資料であるのはもちろんのこと、興行に関する記録は貴重で演劇資料としての価値も高い。また食にうるさかった喜多村は数々の名店を訪れており、「播半」「つる家」「吉兆」「アラスカ」とその記録はグルメマップさながらである。ここでは、喜多村緑郎ともゆかりの深い「芝居と食いだおれの町」大阪にスポットをあて、喜多村緑郎日記のうち昭和6年と12年大阪の記述を抜粋しながら、関連する事項を地図上に表示した。喜多村の一日の足取りが再現されてい

ハルビン絵葉書検索システム環境移行及び機能拡張

11/33

1. はじめに

1.3 谷研究室の取り組み

■ アジア歴史資料館「ハルビン絵葉書検索システム」

本演習の対象

ハルビン絵葉書検索システム

古地図透明度:66%

年代範囲 1904-1940

ポイント一覧

【ハルビン】展がるは代表的近代都市の美観、埠頭区斜紋街大広場の眺望。

ハルビン中央大街旧名キタイスカヤ街（ハルビンの景勝）

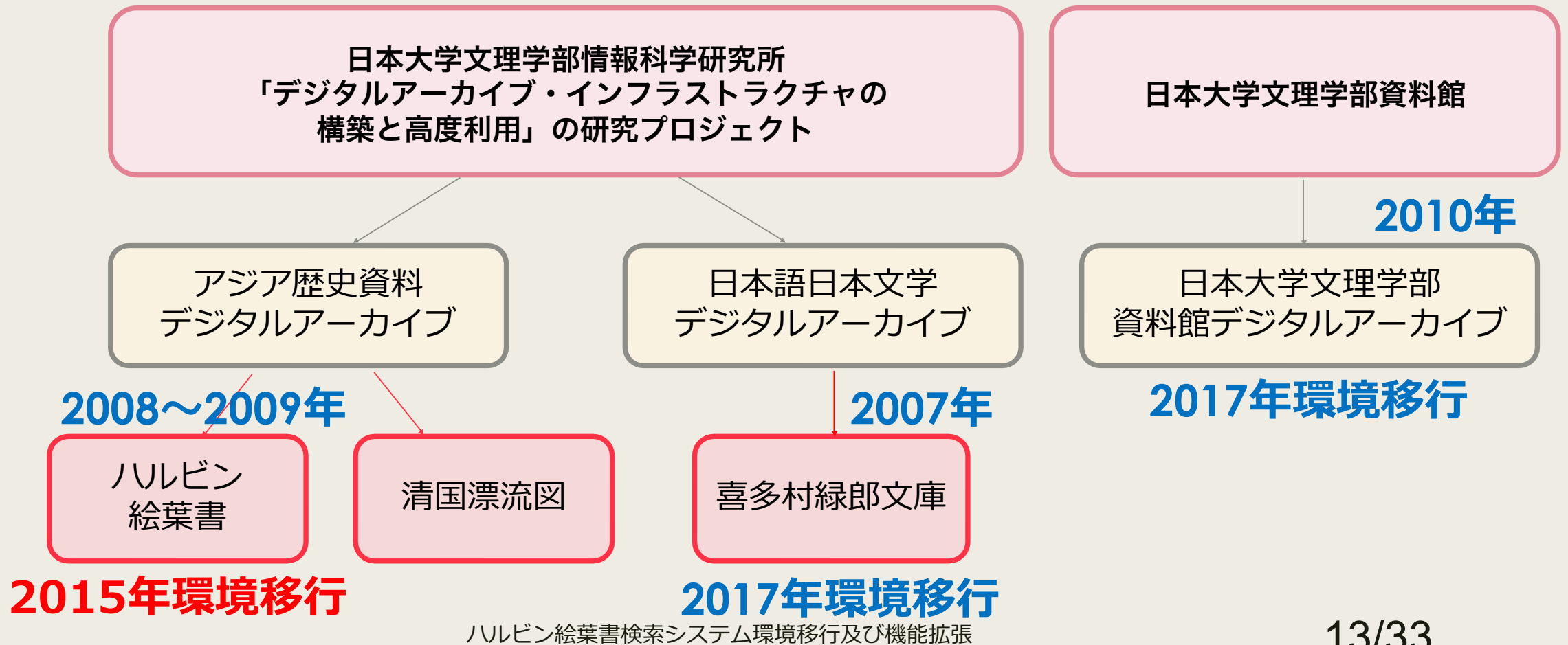
(ハルビン) 哈爾濱特別市公署

ポイント詳細 絵葉書一覧

タイトル
掲載所在地
街路名

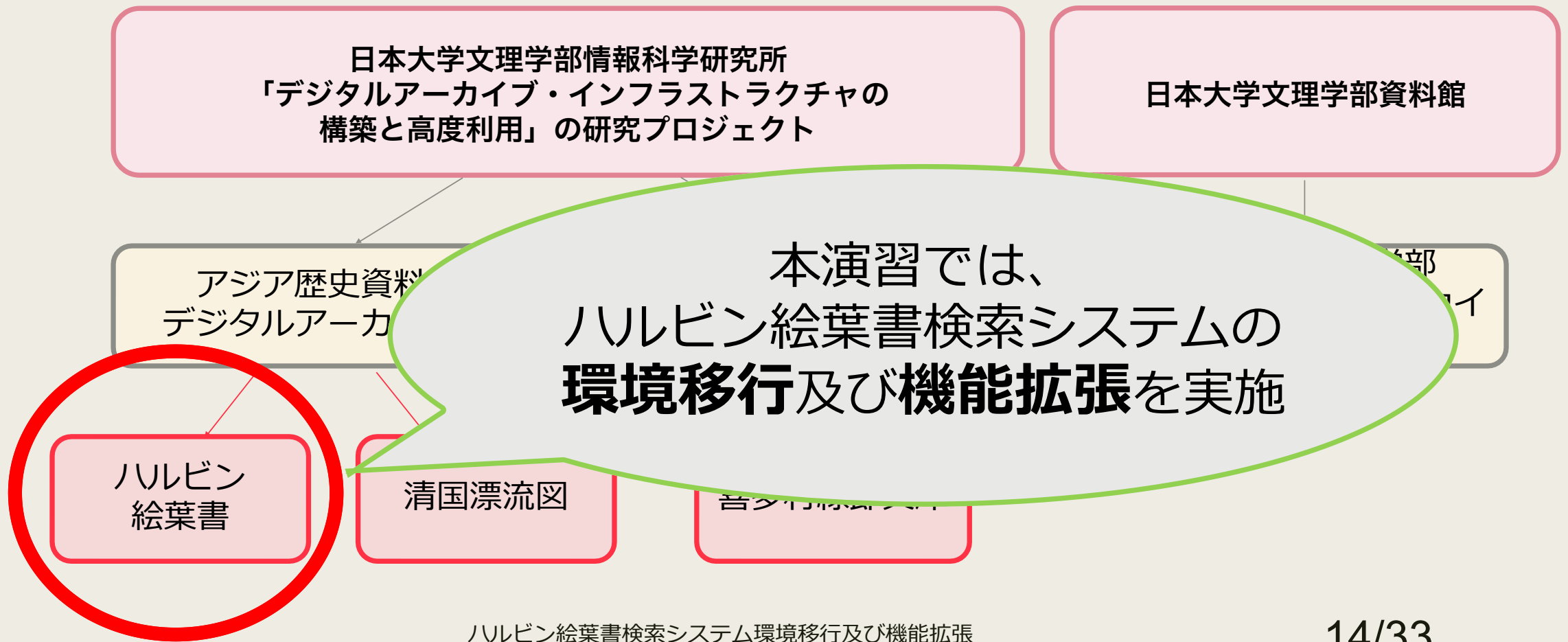
1. はじめに

1.3 谷研究室の取り組み



1. はじめに

1.4 目的・意義



1. はじめに

1.4 目的・意義

**平成29年度日本大学学術助成金（総合研究）
「東アジアにおける都市形成プロセスの実態解明と
そのデジタル化をめぐる研究」**

本演習は上記プロジェクトの一環として
史学科の松重充浩先生のグループと共同で実施

1. はじめに

1.4 目的・意義

■ 機能拡張

絵葉書に対する訪問者所感テキスト表示機能の追加

■ 機能拡張することの有用性

都市訪問者所感のテキストデータを加えることで、既存資料空間が持った歴史展開の起動因の限界の突破を試み、歴史研究あるいは歴史教育において、より利用価値のある資料空間の構築を目指すものとなっている
(史学科松重充浩先生談)

■ 今回追加した都市訪問者所感

与謝野寛・与謝野晶子『満蒙遊記』

目次

1. はじめに

1.1 人文科学とは

1.2 デジタルアーカイブの意義

1.3 これまでの谷研究室の
取り組み

1.4 目的・意義

2. ハルビン絵葉書検索システム

2.1 これまでの取り組み

2.2 本演習の試み

2.3 システム環境

2.4 環境移行の工程

2.5 機能拡張

2.6 ドキュメントの整備

3. おわりに

3.1 まとめ

3.2 今後の課題

ハルビン絵葉書検索システム

2. ハルビン絵葉書検索システム

2.1 これまでの取り組み

- 2008年 開発
- 2009年 再構築・機能追加・データベース正規化
- 2015年 環境移行

2. ハルビン絵葉書検索システム

2.2 本演習の試み

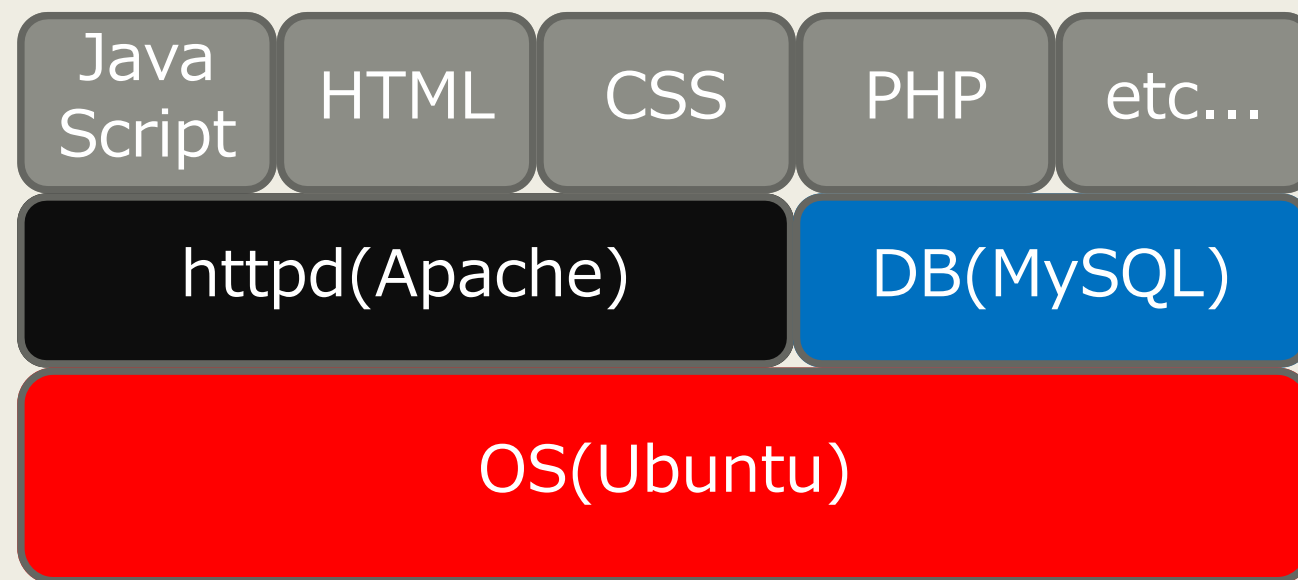
「ハルビン絵葉書検索システム」

- 環境更新
- 更新に伴うプログラム修正
- データベース設計の確認・テーブル追加
- 史学科松重充浩先生グループからの依頼による機能拡張

2. ハルビン絵葉書検索システム

2.2 本演習の試み

■ システムの構成



2. ハルビン絵葉書検索システム

2.2 本演習の試み

■ システムの構成

フロントエンドは
対象外

Java
Script

HTML

CSS

PHP

etc...

httpd(Apache)

DB(MySQL)

本演習の対象は
サーバーサイド

OS(Ubuntu)

2. ハルビン絵葉書検索システム

2.3 システム環境

Ubuntu Server

LTS版を利用すれば5年間にわたるセキュリティサポートを受けられる

本演習で移行したUbuntu Serverのバージョンは
16.04LTS

2021年4月までサポートされる

2. ハルビン絵葉書検索システム

2.3 システム環境

MySQLとは

オープンソースで公開されている関係データベース
管理システム(DBMS)
無償で提供されており、大規模なWebサイトや
システムへの対応が可能

高いセキュリティと信頼性を兼ね備えている

2. ハルビン絵葉書検索システム

2.3 システム環境

環境移行

環境移行前

- OS : Ubuntu 14.04 LTS
→ **2019年4月にサポート終了**
- httpd : Apache2.4.7
- PHP5.5.9
→ **2016年7月にサポート終了**
- MySQL5.5.52



環境移行後

- OS : Ubuntu 16.04 LTS
→ **2021年4月にサポート終了**
- httpd : Apache2.4.18
- PHP7.1
→ **2019年11月にサポート終了**
- MySQL5.7.20

2. ハルビン絵葉書検索システム

2.4 環境移行の工程(1/2)

現在公開中のシステムと同じ環境で再構築し
動作を確認

環境

- OS : Ubuntu 14.04 LTS
- httpd: Apache2.4.7
- PHP5.5.9
- MySQL5.5.52

2. ハルビン絵葉書検索システム

2.4 環境移行の工程(2/2)

環境移行

環境のバージョンアップに伴い、プログラム修正

環境移行前

- OS : Ubuntu 14.04 LTS
- httpd : Apache2.4.7
- PHP5.5.9
- MySQL5.5.52



環境移行後

- OS : Ubuntu 16.04 LTS
- httpd : Apache2.4.18
- PHP7.1
- MySQL5.7.20

2. ハルビン絵葉書検索システム

2.5 機能拡張

史学科松重充浩先生のグループからの依頼で
絵葉書に対する訪問者所感テキスト表示機能を追加

- 既存のデータベースのテーブル設計を確認
→ データベースにテキストテーブルを作成
- HTML, PHP, JavaScript プログラムの追加
- CSSを使ってレイアウトを変更
- 一部の写真が表示されないバグを修正

2. ハルビン絵葉書検索システム

2.5 機能拡張

機能拡張前



<http://ahj.chs.nihon-u.ac.jp/harbin/>

機能拡張後



2. ハルビン絵葉書検索システム

2.6 ドキュメントの整備

ドキュメント作成

システム情報・作業方法の記録

目的

- 運用保守
- 今後の改修作業・インストール自動化

目次

1. はじめに

1.1 人文科学とは

1.2 デジタルアーカイブの意義

1.3 これまでの谷研究室の
取り組み

1.4 目的・意義

2. ハルビン絵葉書検索システム

2.1 これまでの取り組み

2.2 本演習の試み

2.3 システム環境

2.4 環境移行の工程

2.5 機能拡張

2.6 ドキュメントの整備

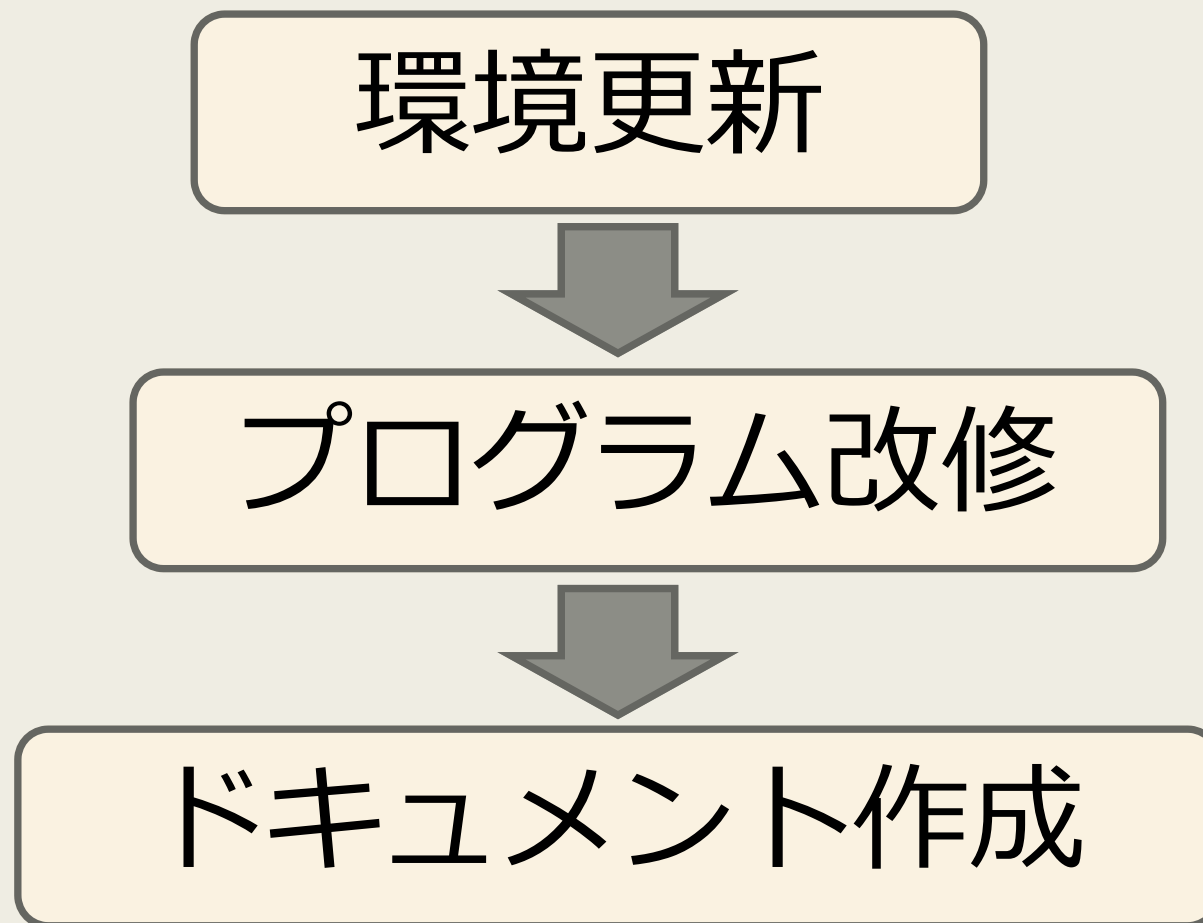
3. おわりに

3.1 まとめ

3.2 今後の課題

3. おわりに

3.1 まとめ



3. おわりに

3.2 今後の課題

- サーバー管理ツールによる
パッケージインストール自動化
- データ追加のインターフェイス作成
- フロントエンド改良
- スマートフォン・タブレット対応
- 機能拡張を見据えたプログラム作成